

合併症削減を目指した高知家レシピに基づく膵頭十二指腸切除術手技標準化の成果

1. 研究の対象

2022年1月～2023年8月までに当院で膵頭十二指腸切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

膵頭十二指腸切除術は消化器外科学会、肝胆膵外科学会で高難度手術に分類されています。近年周術期死亡率は低下傾向ですが、術後膵液瘻は比較的頻度が高く、時に後出血や腹腔内膿瘍など重篤な合併症につながり、その予防は非常に重要です。当院では高知家レシピとして安全に手術が遂行できるように手術にかかわるチーム内で手術進行をこれまで以上に細かく共有を行っています。今回高知家レシピに沿った手術を2023年1月から実施しています。それ以前の手術を受けられた方と比較して、手術時間や出血量などの術中因子および、術後膵液瘻など合併症や入院期間などの術後の経過について比較検討します。

本研究は当院倫理委員会承認日から2024年10月31日までに行う計画としています。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：病歴、手術術式、採血結果、病理結果等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部 消化器外科

TEL:088-880-2370

研究責任者：高知大学大学院医学系研究科外科1講座 宗景匡哉